



豊中市教育センター

〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-2-1-600

TEL 06-6844-5290

FAX 06-6840-8127

平成16年(2004年)5月19日 第7号

2年目を迎え、より魅力的な「教育の広場」へ

今年の冬、淡いピンクからやがて濃いピンクとなり1つ花が咲きました。冬にブーゲンビリアですよ。しかも、ところは教育センターです。

昨年、夏季休業中の研修に教育センターに来られた方々への潤いと、センターで仕事に追われている職員への癒しにと、あざやかな色に心引かれて買い求めた花でした。

翌年も咲くようにと、ロビーの日当たりのよいところに鉢を置き、水をやり続けていると、冬に一つの花が咲き、少しずつピンク色がふえ、立夏をすぎた今も淡くなったピンクの花をつけています。

かさっとした紙のような感触の花びらが、花の形のまま散ることに興味を持ち調べてみました。すると、18世紀のフランスの航海家ブーゲンビリーに因んだ名前で南米原産のおしろいバナ科の花だそうです。きわだった色彩の花に見える部分は、実は苞といわれるつぼみを包む葉で、3枚の苞の中に3つの白いオシロイバナのような花が咲くとのことでした。南の島々の青い空と蒼い海に似合う鮮やかな色合いからか花言葉は「情熱」です。私は、2年目の花を見るだけで、心が和み、その生命力から元気をもらったように感じています。



ところで、教育センターも2年目を迎えました。

研究・研修係、教育相談係、養護教育係、情報・科学教育係の4係の職員は、豊中市の教職員や市民の方々にとって、より活用しやすく、より元気を得られる魅力的な教育の広場となるようにとさまざまな企画を考えております。教育センターの業務が各校園の支援となり、教育に携わる方々の「情熱」の活力源の一翼を担えるように運営していきたいと思っております。学校園の勤務終了後の利用も可能ですので、どうぞ「教育の広場」にお立ち寄りください。(榎本)

研究・研修係からのお勧め

初任者研修を終え、学校では元気一杯活躍中の教職経験2～9年の方へ

課題選択研修（ニューステージ研修Ⅱ）

情報コース、科学コース、英語コース、教科教育コースが選択できます。（各コースとも4回）
授業に活かしてみませんか。

教職経験10年以上の方へ

課題総合研修（ニューステージ研修Ⅰ）

虐待、子ども理解、学級経営にいかせるカウンセリング、コミュニケーション能力の育成、学校における情報管理、民間からの提言等、幅広く学べるものと思います。教育課題を総合的に見つめなおしませんか。

研究協力員制度

昨年度より各教科へと拡充し、小学校33人による7教科の研究部会、中学校18人による7教科の研究部会で出発することができました。本年度はさらに多くの教員の参加をえて、研究の充実を図りたいと考えています。他の学校の先輩や同世代の方と共同で研究して、自身の力量アップにつなげませんか。

養護教育係からのお勧め

初めの一步は障害理解から 高めよう広めよう専門知識を！（入門編）

新年度がスタートし1月半。養護学級も新しい子どもさんと先生の出会いが多くあり、お互いの理解や信頼関係を築く日々を送られていることと思います。障害のある子どもの理解や支援方法をわかりやすく学んでいただけるよう企画しました。5回継続でも個別でも追加の参加が可能です。

障害児教育連続研修

- 1 シンボルを用いたことばの指導（教材づくりの工夫）
- 2 障害のある子どもの教育相談（保護者との信頼関係作り）
- 3 自閉症の理解と支援（特性を理解した上での支援のあり方）
- 4 肢体不自由児の理解と支援（作業療法士から基本を学ぶ）
- 5 聴覚障害児の理解（体験を通して難聴児の指導法を学ぶ）

出あい、ふれあ

豊中市教育委員会が主催する「別研修」「教科・領域研修」の全部で30種類の研修を実施し、今年度は30回を超えています。教育センターの業務を行いながら、研修の充

だれでも魅力ある授業、子どもたちの喜ぶ姿を願っています。一朝一夕に実現できるものでないが、内容及び子どもと教職員のかかわりかめながら力量を高めていき、今年度から、いくつかの研修の紹介で、多くの方に出あい、ふれあ

教材のお勧め

現在、小学校社会科の教材が更新されています。（昨年度の研



教育相談係からのお勧め

まずは子ども理解と傾聴を！

人間関係づくりがうまくできない子どもや集団での活動がうまくできない子どもへの対応に困っていませんか

教育相談研修 (7月27日午前の予定)

- ・ 子どもへのかかわり方や対応の工夫
- ・ 事例を通した具体的な支援の在り方
- ・ カウンセリングマインドを培う 等

情報・科学教育係からのお勧め

あい、学びあい

る研修は、「総合研修」「課題」の3つの柱をたてています。し、のべ開催回数は、100ターは、4つの係がそれぞれ実も図っています。どもとの心のふれあい、子どもとのかかわり等、ひとつひとつを確たいものです。教育センターとします。さあ、教育の広場あい、学びあいましょう。

- 子どもに興味をもてる内容がほしい。実験の基礎が知りたい。・・・
- 理科教育研修
 - サツマイモ・ジャガイモ? どうしたらいいの?
 - 理科教材研修
 - 理科の授業を楽しく子どもたちが興味をもてるものに.....
 - 課題選択研修 (ニューステージII) 科学コース
 - 2学期に向けて、環境学習のヒントをつかみたい.....
 - 環境学習研修
 - コンピュータの利用を授業に取り入れてみたいけど.....
 - 情報基礎研修
 - 明日の教育の情報化を展望した授業に取り組みたい.....
 - 情報活用研修
 - じっくりとコンピュータを使った授業を考えたい.....
 - 課題選択研修 (ニューステージII) 情報コース
 - 情報基礎の授業でこんな内容を取りあげては? ..技術・家庭科研修

教育センター内向けHP

<http://school.toyonaka-osa.ed.jp/educ>

科「地域教材白地図」が利用可能で(協力員の方が作成しました)

登録されている教材が利用できます。今後順次整備する予定です。

いきいきできる場所は、どこですか？

不登校の相談で、先生からは「電話や家庭訪問をしてもよいのでしょうか」、保護者からは「このまま放っておいてよいのでしょうか」といった質問をよくいただきます。これらの質問について<学校にいきたくない、教室はいや>と訴えるA君の気持ちから考えてみようと思います。

A君は朝、教室に入ると元気がありません。でも、放課後は校庭で友だちととても元気よく話をしています。周囲の目には、元気があるのか、ないのか、どっちなのだろうと映るようです。

ある日、A君が久しぶりに教室にやってきました。

「なんで学校に来ないの？楽しいよ」と、A君を気遣って多くの子どもたちが声をかけてくれます。A君にとっては、自分のことを気遣ってくれる大切な気持ちです。しかし、同時に親から以前「どうして学校にいけないの？みんな待っているのに？」と尋ねられてどう答えてよいのか分からなくて困った質問でもあります。A君は何と言って返事をしてよいのかわからず黙ってしまい、顔からどんどん生気が失せていきました。

A君は、みんなの期待に応えられないことへの申し訳なさや黙っていることで相手を不快にさせているのではないかという不安や怖さから教室でどうすればよいのか分からなくなるようです。かといって、学校を休んだ時に全く連絡がないのも、自分のことを忘れられているようで、寂しいような複雑な気持ちになるようです。

では、A君は何を求めているのでしょうか。A君の好きな場所で、友だちとなにげない会話をしているとA君の表情がいきいきとしていきます。この表情を見ていると、学校に行くことができないときでもいきいきしている部分がちゃんとあることが伺えます。



不登校の対応として、私たちができることは、何かをしてあげることよりも、いきいきとしたかかわりを持ちたいという気持ちで向き合うことではないでしょうか。自分から人といきいきとしたかかわりを持たなくなった子どもは、一番身近な大人、つまり家族や先生から手をさしのべられることをじっと待っています。

そして、いきいきできる場所を多く獲得した子どもは、次は自分の不安と向き合い、自分を語る方向に力を向けていくことができるようです。(大川)